

第3章 IPv6インターネット接続サービスの利用拡大の加速化に向けた更なる取組

2. 今後の重点課題とその対応方策

(4) モバイル事業者

- モバイル事業者については、NTTドコモが2011年6月より、mopera Uの契約者に対してIPv6インターネット接続を提供しており、KDDIについても、2012年11月より、LTE NET for DATAの契約者に対して、IPv6インターネット接続を提供している。
- 徐々にIPv6を利用可能なユーザは増加しつつあるものの、現在IPv6を利用できるのは一部のサービスの契約者のみであり、Googleの調査によれば、日本の携帯網のIPv6対応は0.1%以下とされていることから、対応が進んでいるとは言えない。また、米国のベライゾン・ワイヤレスなど、海外ではモバイル事業者のIPv6対応が進みつつある。
- 以上を踏まえ、我が国のモバイル事業者は、2014年中にIPv6対応に関するネットワークの影響範囲や必要コストの見極め等を行い、早期にIPv6インターネット接続サービスのデフォルト提供に向けた計画の明示について検討することが求められる。そして、当該計画に基づきIPv6対応を進め、多くのユーザがIPv6を利用できる環境を早期に整備することが重要である。